

技術と発想力で独自商品

中島プレス工業（越谷市）

繊維加工…日本初の「高精度3次元対応の形状記憶不織布」の試作開発と量産化対応

プレス加工業は大手メーカーからの注文を受けて動くことが多い業種である。同社は長い歴史でさまざまな分野での技術の蓄積があり、自社ブランドによるオリジナル製品の開発が念願だった。

文字通り織られていない布で、細かい化学繊維を絡み合わせたシートだ。これに独自開発の特許技術であ

る形状記憶加工を施して、一般向けの商品を開発したのが写真の不織布の折鳩である。

納め、参拝客に祈願を書いて奉納してもらうことで、神具として活用されているが、これは使用法の一例。用途を変えることでさまざま

な分野での技術の蓄積があり、自社ブランドによるオリジナル製品の開発が念願だった。

小さく軽量な

ものへのプレスが得意な点を生かして何か作れないのかとの考えから生まれたのが、高精度3次元対応の形状記憶不織布である。不織布とは



全体を拡げると正方形で、瞬時に鳩に戻る形状記憶加工がされている

不織布は安価で、軽く、手触りもよい。これに形状記憶プレスを施すことで、複雑に成形、瞬時に解体することが何度でも繰り返しできる。

現在、特殊印刷を施した「祈（いの）り鳩」を神社に

用用途を変えることでさまざまなビジネスチャンスが生まれてくると自負しているという。日本初の技術と言ってよく、このたびの事業で量産化への対応も済んでおり、今後の展開が期待されている。

【中島プレス工業株式会社】

本社は越谷市増森2544。小松崎いずみ代表取締役社長。1974年設立。元々はプレス加工を主業とする会社だったが、現在は電子部品へのプレス加工、フェルトなど化学繊維へのプレス加工、新規事業と3本の柱を持っている。埼玉県「多様な働き方実践企業ゴールド認定」を受け、さらに注目を集めている。